

気象情報について

- ・教材化に適した台風の事例を知りたい
 - ・過去の台風の気象情報を得たい
 - ・台風の経路図を知りたい
 - ・毎日の天気図を調べたい



○ 気象庁 災害をもたらした気象事例

http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/index_1989.html

昭和 20 年から本年までの風水害や雪害の事例、被害を総合的に見て規模の大きなもの、社会的な関心、影響が大きなものの事例がまとめてある。ここでは、気象事例の概要や災害状況、各気象台作成資料へのリンクが掲載されている。教材としてどの事例が適しているか検討する際に役に立つと考えられる。

○ tenki.jp 過去天気 <http://www.tenki.jp/past/>

ここでは、2012 年以降の気象衛星画像、天気図、アメダス(降水量、風向・風速、日照時間)のデータが提供されている。都道府県ごとの詳細なデータがあり、児童・生徒が台風や気象災害を身近に感じることができる教材づくりに生かすことができる。

○ 気象庁 台風経路図

http://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/typhoon/route_map/index.html

昭和 26 年(1951 年)以降に発生した台風の経路図を調べることができる。季節ごとの台風の経路の特徴を考える際などに役に立つと考えられる。

○ 気象庁 日々の天気図 <http://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/hibiten/>

日々の天気図では、平成 14 年(2002 年)以降の毎日の天気図と天気の概況が掲載されている。中学校理科において気圧について学習する際や、前線による天気の変化を学習する際に最新の天気図を用いて考えることができる。

防災情報について

- ・災害が発生する前に危険箇所を調べておきたい
- ・災害が生じる可能性がある場合、リアルタイムの気象情報を知りたい
- ・子供でも自分で調べることができるサイトを知りたい



○国土交通省ハザードマップポータルサイト <http://disaportal.gsi.go.jp/>

各市町村のハザードマップを調べることができたり、洪水浸水想定区域やがけ崩れが生じる可能性がある箇所などハザード情報を追加し、自分の地域のハザードマップを作成することができる。

○熊本県統合型防災情報システム

<http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/GmnDsp.exe?M100>

熊本県統合型防災情報システムでは、熊本県の土砂災害警戒情報、大雨、強風などの気象情報、雨量や河川水位情報をリアルタイムで得ることができる。熊本県の市町村ごとに詳しく情報を集めることができる。警戒情報は、地域別に色分けや表になっているので、児童・生徒も理解しやすいと考える。

○tenki.jp 防災情報 <http://www.tenki.jp/bousai/warn/>

tenki.jp では、日本全国の警報・注意報、地震情報、台風情報など様々な自然災害の情報を得ることができる。熊本県統合型防災情報システムのように、各都道府県の市町村ごとにくわしく気象情報を調べることができる。

○デジタル台風キッズ <http://agora.ex.nii.ac.jp/digital-typhoon/kids/>

デジタル台風の子供向けサイトである。台風によりもたらされる災害、季節ごとの台風の特徴、過去の台風検索を行うことができる。イラストを交えて子供にわかりやすく説明している。